



▲初めての窯出しで一本一本大切に炭を運ぶ南成島の子もたち。10カ月たった今、炭を通じた交流は確実に広がっています

窯を通して広がる可能性 南成島炭窯組合(東和町南成島)

わたしたちの取り組み

「地域を活性化するためには、何ができるか。そう思い、3年前、南成島地区の農家組合で、九戸村や洋野町などの県北地域へ中山間地農家研修へ出かけたのが炭焼き窯づくりのきっかけでした。わたしたちの地域の良さを最大限に引き出すため、南成島と似た自然環境同じ規模の農家を見学。多くのノウハウを学びました。それらの中で、「これだ」と思ったのが、炭焼き窯です。炭には、さまざまな用途があり、大きな可能性を秘めています。何より、南成島の環境にぴったりでした。

炭焼き窯は、地域の仲間と協力して作りました。現在、6人で窯を運営し、炭を焼いています。一度の窯入れでできる炭は約300キログラム。地域の子も会

や老人クラブなどの行事でみんなで自由に使っています。また、地域内の交流だけでなく、窯を通じて外との交流も広がりました。今月末にも、神奈川県川崎市から子どもたちが体験学習に訪れます。地元の子もたちと一緒に炭の窯出しや農家体験を楽しんでもらいたいですね。この交流の機会は、大人たちにとっても発見の連続。違う環境で育った子どもたちがふれあう姿を見て、親たち、大人たちも学ぶことがたくさんあります。

今はわたしたちだけで炭を焼いています。軌道に乗ってきたら、ほかの地域の方へ窯を貸し出すなど、窯の活用範囲を広げていきたいと思っています。加工品や、木酢液づくりにも挑戦して、炭の利用価値をもっと高めたいですね。ここが交流と炭の生産の拠点になれば素晴らしいと思います。一気に実現することはできませんが、何事もやる気が大事。活性化につながるため、一歩一歩進みたいと思います。



代表 熊谷 裕 さん

皆さんの地域活動 応援します。



吹張町の地域住民が協力してプランター花壇を作りました。ただ今、プランターに飾る絵を募集中!



できあがり

「自分たちのまちをもっと元気にしたい」。住み慣れた地域への愛着、地域を思う心は、みんな一緒です。まちづくりは、自治会や町内会、市民団体などによるさまざまな地域コミュニティ活動に支えられています。地域の特性を最大限に生かし、皆さんがもっと創造的に活動できるように、地域活動を助成する「地域づくり支援事業」が始まりました。

集めよう。地域の元気

「住民参加」。皆さんと行政が協働で進めるまちづくりに欠かすことのできない大切なキーワードです。自治会や町内会など自分が暮らす地域での活動や、ボランティア活動など同じ考えを持った仲間が集まって行う活動。住民参加にはさまざまな形がありますが、皆さんが一人となって主体的に進める地域活動は、とても大きな効果をまちづくりにもたらします。

市では、新市建設計画の基本方針である「地域活力の醸成」と「住民参画型都市の実現」を目指し、地域づくり支援事業を通じて、皆さんの創意と工夫による自主的な地域づくり活動をサポートします。

一つひとつの地域の元気がまち全体の活性化につながります。地域のたくさんの方のアイデアを集め、みんなでまちに活気を作り出しましょう。

地域づくり支援事業の利用方法
対象団体
地域団体(行政区や町内会、自治会など特定の地域住民で構成する団体)
市民団体(まちおこしやボラ

- ※1団体につき1事業
対象事業
- ① 生活環境の改善や、景観づくり、自然環境保全を図る事業
例 花壇整備、案内板設置、景勝地の美化整備など
 - ② 歴史や文化を保存伝承する事業
例 郷土芸能の記録保存、講習会、学習会など
 - ③ 防犯や交通安全に関する事業
例 通学路パトロール、防犯灯設置など
 - ④ 地域の交流を深める事業
例 三世交代交流イベントなど
 - ⑤ 地域の特徴ある事業や社会貢献事業など
- ※政治団体や宗教団体、営利団体の活動・宣伝を目的とする事業は対象になりません
助成額 事業費の 以内
※1団体につき30万円を限度
手続き方法
本庁地域振興課または各総合支所地域振興課にある必要書類(補助金交付申請書、事業計画書、収支予算書)を作成し、同課へ受付締め切り
平成18年8月31日(木)
内容を審査してから補助金交付の可否を決定します。

わたしたちの取り組み 笑顔が輝くまちにしたい にっこりふっぱり向上委員会(吹張町)



まちの情報を発信する「街なか掲示板」①と「にっこりふっぱり通信」②。どちらも身近な話題が満載です

吹張町は昔ながらの商店街ですが、店主だけでなく、サラリーマンや主婦など、さまざまな人が住んでいます。暮らす人、商売をしている人、働いている人、すべての人がもっと住みやすく、もっと楽しく過ごせるまちをつくりたい。そう思い、昨年、仲間と立ち上げたのがこの会です。空き店舗が増え、だんだん静かになっていくまちを活気づけたいと思います。

吹張町には、町内会と商店街の二つの大きな組織があります。互いに多くの情報を持っているのですが、空き店舗などを活用する新しい住民へ、その情報がなかなか伝わらないことがありました。「組織同士や、組織と住民の橋渡しをして、まちを一つにつなぎたい。そのために自分たちができる



会長 奥山 雅史 さん

ことは何だろ?。最初に考えたことが、みんなで一緒に取り組める大掃除でした。皆さんに声をかけたら、予想以上の参加者が集まり、びっくり。皆さん、きっかけを待っていたんですね。清掃や花盛り作戦など、身近な行事を繰り返すうちに、わたしたちの活動も地域に浸透してきました。行事を通して、皆さんも互いに顔をあわせる機会が多くなり、横のつながりがだんだん広がってきたと思います。とてもうれしいですね。

1月に設置した掲示板もすっかり定着しました。今は募集チラシが中心ですが、町内会の総会でこんな話があったよ。商店街では今度こういことをするよ」というような地域の情報をここから発信できれば、地域のつながりをもっと強くなると思います。

わたしたちの役目は皆さんに呼びかけ、一緒に実行すること。まちづくりは参加型でなければ意味がありません。住む人が元気だと、まちにも活気が生まれます。住んで楽しい。そんなまちを目指したいですね。